



サイクス(S I C S)は、産業情報支援センターの運営組織である、(株)西条産業情報支援センターの愛称です。

今回は、西条市から3件の受賞があった「第3回ものづくり日本大賞」についてお知らせします。

**西条市から3件が受賞
第3回ものづくり日本大賞**

「ものづくり日本大賞」は、平成17年8月に新たな総理大臣表彰として、経済産業省によって創設されました。

この制度は、これまで日本の産業・文化の発展を支え、豊かな国民生活の形成に大きく発展してきた「ものづくり」を、継承・発展させていくことを目的としており、ものづくりに携わっている各世代の人材のうち、特に優秀な人材を表彰するものです。

3回目の実施となる今回は、西条市から3件が四国経済産業局長賞を受賞し、去る8月4日に高松市内にて開催された表彰式で、賞状の伝達が行われました。

今回受賞した3件は次のとおりです。(敬称略)

【製品・技術開発部門】

○森林整備作業現場の動力刃物の危険から体を保護、優れた安全性、快適性を持つ林業防護服の開発



○高温耐摩耗性に優れた特殊アルミニウム青銅鋳物合金「DZ400」の開発
道前工業株式会社
真鍋隆太ほか 計3名



株式会社トーヨ
渡邊茂義ほか 計7名

今回、製品・技術開発部門で四国経済産業局長賞を受賞した2社は、広報さいじょうのサイクスインフォメーションのコーナーで連載を続けている「我が社の得意技」において、平成19年10月号で(株)トーヨを、平成20年3月号では道前工業(株)をそれぞれ紹介をしています。ともに先駆的な取り組みを続ける西条市を代表するものづくり企業です。特に道前工業(株)は平成21年4月に発表された「2009



【青少年支援部門】
○地域ものづくり企業、学校現場とのネットワークを活用した次世代を担う産業人材の育成
西条市ものづくり科学創造クラブ(サイクス)

西条市は四国最大級の「ものづくり都市」です。しかし、中国や東南アジアなどの新興国の経済発展が進むにつれ、日本のものづくりや西条のものづくりのあり方が大きく変わりつつあります。ものづくり技術を次世代に受け継いでいくためにも、このようなものづくり企業の先駆的な取り組みを、応援していきたいと思っています。

サイクスはものづくりを応援していきます

また、青少年支援部門を受賞した西条市ものづくり科学創造クラブは、小学5年生および6年生を対象とした継続的な活動が評価されました。中でも、企業OBと学校の先生方のご協力をいただくことで、より現場に近い専門的知識を、分かりやすく子どもたちに提供することができている点が高く評価を受けています。